

令和5年度学校評価表

1 本年度の重点目標

- 1 基本的な生活習慣を確立し、思いやりのある心豊かな人格の育成を図る。
- 2 自らを律し、学習や部活動等に意欲的に取り組み、目標に向かって努力を惜しまない態度を育む。
- 3 地域との連携に努め、生徒一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を継続し、次代を担う有為な人材を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果												
学習指導	学習目標の明確化及び家庭学習の定着を図り、個に応じた指導を充実させる。 【指標】 家庭学習時間の平均値が 普通クラス 60分以上 特進クラス120分以上 【結果】 <table><tr><td></td><td>1 年次</td><td>2 年次</td><td>3 年次</td></tr><tr><td>普通</td><td>43.4%</td><td>30.6%</td><td>47.5%</td></tr><tr><td>特進</td><td>94.7%</td><td>76.3%</td><td>86.8%</td></tr></table> 【自己評価結果】B		1 年次	2 年次	3 年次	普通	43.4%	30.6%	47.5%	特進	94.7%	76.3%	86.8%	【自己評価の結果の内容の適切さ】 A 【今後の改善方策の適切さ】 A 【評価者の意見等】 ・普通クラスの学習時間を上げて、学校全体の底上げが必要 ・先生のガンバリに感謝いたします。 ・生徒達の自主性を高めるための御指導をお願い致します。 ・普通クラス・特進クラスかわりなく、その子の進路に何が必要かを見極め、学習・検定技術・社会性などを身に付ける御指導よろしくお願い致します。
	1 年次	2 年次	3 年次											
普通	43.4%	30.6%	47.5%											
特進	94.7%	76.3%	86.8%											
改善方策	年々学習時間が減る傾向にある。 家庭学習の意義に係わる啓発活動とともに、生徒への還元方法を検討し実行する。													
生徒指導	本校の『いじめ防止基本方針』のもと、家庭、地域、関係機関等の協力を得ながら、教育相談的指導を充実させ、「いじめ」の未然防止、早期発見・早期対応に取り組む。 【指標】 いじめアンケートにおいて、「いじめはどんな理由があっても絶対許されない」と回答する生徒を100%とするとともに、あわせて「いじめ0」とする。 【結果】 1年次 91.6%、2年次82.0%、3年次87.0% 全体86.7% いじめ認知件数7件(解消済) 【自己評価結果】 A	【自己評価の結果の内容の適切さ】 A 【今後の改善方策の適切さ】 A 【評価者の意見等】 ・「いじめ0」を目標に今後も指導を継続していただきたい。 ・生徒の人に対する思いやり、尊重の意識を育む。 ・いじめは、犯罪となる意識付けも必要と思いました。 ・子供達に寄り添いいつでも相談できる（先生との関係性を良好に築く）場所があれば良い。												
改善方策	引き続き「いじめ防止の取組」について継続的にちょっとした兆候やサインを見逃さない姿勢で指導を継続する													
進路指導	各年次に応じて、生徒一人一人に視点を当てたきめ細かな進路指導を行う。 【指標】 3年次生の進路決定率100% 【結果】(2月19日現在) 就職87.0%、進学82.7% 全体83.7% 【自己評価結果】 A	【自己評価の結果の内容の適切さ】 A 【今後の改善方策の適切さ】 A 【評価者の意見等】 ・大変良い ・進学・就職ともに多様化が進んでおり、今後も生徒に寄り添った進路指導を行ってほしい。 ・先生方の生徒に対する進路指導は素晴らしいと思います。												
改善方策	年次枠を越えた情報交換の機会を充実させるとともに、活用しやすいデータ・資料の提供に努める。													